

法人(事業所)理念		「生きる」を楽しむ		
支援方針		①活動や遊びを通じて「できた！」を1つでも多く見つける ②「楽しく遊べる」「また行きたい」と思ってもらえる居場所の提供		
営業時間		10時～17時	送迎実施の有無	有・無
		支援内容		
本人支援	健康・生活	<p>○体温表の活用により、健康状態や体温など家庭と共有(利用当日は昼食後に検温)</p> <p>○個人の発達に合わせたトイレトレーニング(並行通園の場合は園と連携をとって行います。)</p> <p>○生活リズムの安定を図るため、決められたタイムスケジュールで活動を行う。必要に応じて午睡も行うことで睡眠リズムを整える。</p>		
	運動・感覚	<p>○日々の遊びや活動は感覚統合や体の使い方を目的とした内容となっている。</p> <p>○椅子に座る、物を持って運ぶ、食具を正しく持つなど、日常的に意識できるよう支援している。</p>		
	認知・行動	<p>○朝の会や日中の活動、片付けの声掛けなどに数字や時間の感覚を意識できるような促し。</p> <p>○周囲の動きに合わせて動く。話をしている人の方に注目するなど就学以降の集団活動を想定した支援。</p> <p>○自分で考えて行動できる。一番が良いなどのこだわりやネガティブな考えをポジティブに考えていく情緒スキルを意識した声かけ。</p>		
	言語・コミュニケーション	<p>○挨拶、名詞、数字の他、困った時に手伝いを求める、遊ぶ時間を通して気持ちを相手に伝えるなど集団生活に必要な対人スキルを言葉だけでなく個の発達に応じて適切な方法で行うことができるように支援する。</p>		
	人間関係・社会性	<p>○5歳までは園生活を基礎として考えたうえで個の発達に合わせて段階的に目標を設けて支援する。</p> <p>○年長児は就学後の学校生活に必要なと思われるスキルを個の発達状況に応じて目標として設けて支援する。</p>		
家族支援		家庭での困り事、父母が育児をするうえでの悩みから支援目標を設定する。療育的な考え方、療育の視点と社会の視点の違いなど伝える。(ペアトレ)	移行支援	並行通園の場合は園訪問を行い、保育現場での相談を受け促し方を伝えている。年長児の家庭には就学に向けてのアドバイスを行っている。
地域支援・地域連携		必要に応じて園への訪問を行っている。カンファレンスなどの会議にも積極的に参加する。	職員の質の向上	疑問に思ったこと、業務上の困り事など相談できる関係性を作ることで、職員同士連携をとり、支援の質を向上させる。
主な行事等		<p>季節イベント行事(春探し、夏祭り、ハロウィン、クリスマスなど)</p> <p>外出イベント(公園あそび、卒園遠足など)</p> <p>毎月の活動(誕生日イベント・「生活」「製作」「運動」「音楽」など)</p>		